



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社 トラスト

上場取引所 東

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻本 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10,071	12.9	762	35.4	714	33.7	222	18.1
30年3月期第2四半期	8,920	4.0	563	20.6	534	20.6	188	14.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 414百万円 (23.0%) 30年3月期第2四半期 338百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	8.61	
30年3月期第2四半期	7.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	30,929	9,236	21.2	253.98
30年3月期	29,756	8,859	21.6	248.01

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,572百万円 30年3月期 6,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		1.50		1.50	3.00
31年3月期		2.50			
31年3月期(予想)				1.50	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	8.7	1,400	6.2	1,300	3.4	500	13.1	19.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	28,150,000 株	30年3月期	28,150,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,273,100 株	30年3月期	2,273,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	25,876,900 株	30年3月期2Q	25,876,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績、雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しており、設備投資においても増加傾向にあります。しかしながら世界経済においては米中の貿易摩擦に端を発する世界経済の下振れリスクの増大等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高10,071百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益762百万円(前年同期比35.4%増)、経常利益714百万円(前年同期比33.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益222百万円(前年同期比18.1%増)となりました

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、資源価格下落等の影響で輸出国の景気と需要が低迷し、外貨準備高不足により海外送金が困難な状況が続いておりましたが、徐々に回復してきております。また、平成30年9月に発生した台風21号により、神戸港において高潮の被害が発生したものの、当第2四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は67.45万台(前年同期比2.0%増)となりました。

このような状況のなか、メイン販売先であるアフリカ地域の輸出台数は徐々に回復し、また、アジア地域においてもB2B取引先との関係構築により輸出台数が増加しました。しかしながら、北中南米地域及びヨーロッパ地域への輸出台数が減少し、当社グループの輸出台数の合計は2,291台(前年同期比1.0%減)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,255百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益85百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期において直営店の伊勢店(三重県)、名古屋駅スマートカウンター(愛知県)、F C店の長崎空港店(長崎県)、燕三条駅前店(新潟県)を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は140店、総保有台数は17,347台(前年同期比7.8%増)となり、既存店、新規店において売上が増加しました。しかしながら、レンタル終了車輛の販売台数は745台(前年同期比23.3%減)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高5,141百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益724百万円(前年同期比47.6%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、資源価格の下落等により景気が低迷しておりますが、平成30年1-9月期の新車販売台数は41.2万台(前年同期比0.8%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でブジョー・シトロエンディーラー4店舗、スズキディーラー3店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の計8店舗を運営しており、新車販売台数は合計453台(前年同期比0.4%増)、中古車販売台数は合計620台(前年同期比14.2%増)となり、前年同期と比べて販売台数は増加しましたが、前期に出店した店舗のコスト増加もあり営業損失となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,792百万円(前年同期比11.6%増)、営業損失44百万円(前年同期営業損失11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、17,664百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産1,236百万円、受取手形及び売掛金が349百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、13,265百万円となりました。これはリース資産(純額)が490百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、30,929百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、18,294百万円となりました。これは短期借入金が380百万円、リース債務が1,163百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.9%減少し、3,398百万円となりました。これは長期借入金が347百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、9,236百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて84百万円減少し、894百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,366百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益710百万円、減価償却費1,832百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は591百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出557百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,853百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,748百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、新規店舗及び既存店舗の収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、平成30年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	978,835	894,738
受取手形及び売掛金	1,574,542	1,924,021
リース債権及びリース投資資産	10,978,834	12,215,230
商品及び製品	1,963,686	2,066,313
仕掛品	3,673	7,549
原材料及び貯蔵品	24,346	25,982
その他	570,996	537,790
貸倒引当金	△6,151	△7,058
流動資産合計	16,088,763	17,664,567
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	6,084,858	5,593,965
土地	3,472,636	3,468,062
その他（純額）	3,208,327	3,268,245
有形固定資産合計	12,765,823	12,330,273
無形固定資産		
のれん	85,913	80,281
その他	59,889	58,489
無形固定資産合計	145,802	138,770
投資その他の資産		
その他	786,498	826,590
貸倒引当金	△30,350	△30,254
投資その他の資産合計	756,148	796,336
固定資産合計	13,667,774	13,265,380
資産合計	29,756,538	30,929,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,588	639,909
短期借入金	670,000	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	142,824	43,224
リース債務	13,906,536	15,070,455
未払法人税等	206,499	285,572
賞与引当金	86,412	95,726
その他	984,125	1,110,053
流動負債合計	16,757,987	18,294,940
固定負債		
長期借入金	395,909	48,597
リース債務	3,629,512	3,221,499
役員退職慰労引当金	7,334	7,061
資産除去債務	38,351	38,493
その他	68,443	82,947
固定負債合計	4,139,550	3,398,599
負債合計	20,897,537	21,693,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,521,135	4,705,101
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,426,726	6,610,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,253	18,078
為替換算調整勘定	△24,226	△56,449
その他の包括利益累計額合計	△8,972	△38,371
非支配株主持分	2,441,246	2,664,086
純資産合計	8,859,000	9,236,408
負債純資産合計	29,756,538	30,929,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,920,154	10,071,974
売上原価	6,647,357	7,419,266
売上総利益	2,272,797	2,652,707
販売費及び一般管理費	1,709,341	1,889,799
営業利益	563,456	762,907
営業外収益		
受取利息	5,072	4,765
受取配当金	4,915	2,658
為替差益	656	—
投資有価証券償還益	970	—
受取保険金	368	—
受取補償金	9,770	6,130
その他	5,396	4,159
営業外収益合計	27,149	17,714
営業外費用		
支払利息	55,701	51,302
為替差損	—	13,923
その他	445	1,025
営業外費用合計	56,146	66,251
経常利益	534,459	714,370
特別損失		
固定資産除却損	35	1,506
固定資産撤去費用	128	2,087
特別損失合計	164	3,594
税金等調整前四半期純利益	534,294	710,776
法人税、住民税及び事業税	179,025	278,152
法人税等調整額	15,923	△12,969
法人税等合計	194,948	265,183
四半期純利益	339,345	445,592
非支配株主に帰属する四半期純利益	150,759	222,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,586	222,781

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	339,345	445,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2,852
為替換算調整勘定	△981	△32,222
その他の包括利益合計	△981	△29,370
四半期包括利益	338,364	416,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,407	193,382
非支配株主に係る四半期包括利益	150,957	222,839

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	534,294	710,776
減価償却費	1,627,584	1,832,108
のれん償却額	3,346	3,337
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△318	979
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,792	9,313
受取利息及び受取配当金	△9,988	△7,424
支払利息	55,701	51,302
為替差損益 (△は益)	△1,419	△403
固定資産除却損	35	1,506
売上債権の増減額 (△は増加)	△181,529	△364,459
たな卸資産の増減額 (△は増加)	315,207	179,318
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,539	△70,481
未払消費税等の増減額 (△は減少)	110,151	△12,269
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	245,317	21,516
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	30,143	260,030
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△12,625	△1,586
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	3,600	△1,227
その他	908	△130
小計	2,760,158	2,612,206
利息及び配当金の受取額	9,715	7,284
利息の支払額	△55,943	△55,353
法人税等の支払額	△194,590	△197,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,519,339	2,366,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,107	—
有形固定資産の取得による支出	△1,638,487	△557,546
無形固定資産の取得による支出	△10,111	△15,573
貸付けによる支出	△933	—
貸付金の回収による収入	6,412	921
敷金及び保証金の差入による支出	△28,144	△36,103
敷金及び保証金の回収による収入	892	1,762
その他	10,928	15,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,661,551	△591,389
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	225,000	380,000
長期借入れによる収入	650,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,855	△446,912
リース債務の返済による支出	△1,660,721	△1,748,048
配当金の支払額	△38,804	△38,812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△864,381	△1,853,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,059	△5,727
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,533	△84,096
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,435	978,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,126,901	894,738

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,875,717	4,438,348	1,606,088	8,920,154	—	8,920,154
セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,967	132,982	—	144,949	△144,949	—
計	2,887,685	4,571,330	1,606,088	9,065,104	△144,949	8,920,154
セグメント利益又は損失(△)	82,893	490,755	△11,318	562,330	1,125	563,456

(注) 1 セグメント利益の調整額1,125千円には、のれん償却額△3,346千円、棚卸資産の調整額3,871千円、セグメント間取引600千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,238,792	5,041,087	1,792,094	10,071,974	—	10,071,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,085	100,854	—	117,939	△117,939	—
計	3,255,877	5,141,941	1,792,094	10,189,914	△117,939	10,071,974
セグメント利益又は損失(△)	85,032	724,112	△44,860	764,285	△1,377	762,907

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,377千円には、のれん償却額△3,337千円、棚卸資産の調整額1,959千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。